

【質疑応答:区民会議について】

【記者】議会の議決が難しくなっている区民会議、先の議会で否決されましたけれども、新しい提案に向けていろいろと検討されてきたと思いますが、現在の市長のお考えと、今回の予算にどう反映されているのか教えてください。

【市長】区民会議については、前回の議会の状況の中でまだ実現に至っていない状況なのですが、ただ、区民の意見を聞く場の必要性については協働と参画の条例を可決いただいたこともあり、その点については議会のほうも認めておられると認識しております。

これからいよいよ政令指定都市としてスタートし、区という形が新たに生まれてくる中で、私どもとしては区の振興ビジョンを是非作っていききたい。区長がつくっていくような形になります。それについての予算措置は今回計上させていただいているものであります。それは全体のマスタープランの見直しのスケジュールに合わせるものでもありますけれども、そうした区の振興ビジョンをつくっていくプロセスの中では、区の方々の意見を聞く場は必要になってまいりますので、そうした形が必要ではないかということを議会のほうに話をしていきたいと思っています。

【記者】区民会議という具体的な形の提案の時期ではないということですか。

【市長】区民会議そのものを提案する状況ではまだないだろうと。しかしながら、先ほど申し上げたように、新たにスタートする区の、特にビジョンを作っていくことについて、区の住民の方々に意見を聞くような場は是非作っていききたいと思っています。区民会議の元々の役割の一つでもあったと思いますので、そういった部分で議会の理解を得ていききたいと思っています。区の振興ビジョンを作るにあたって、意見を聞く場は必要ではないかと思っています。

【記者】区民会議と同時に、区独自のまちづくり予算も政令指定都市移行に伴って計画されたと思うのですが、アクションプランの中でも1年後ろ倒しということで修正の方向になりました。今どういう状況にあるのか。今後どういった形で提案されていくことになるのですか。

【市長】お話があったように、まちづくり予算はアクションプランの中では来年度からスタートさせたいと思っておりました。ただ、やはり区のまちづくり予算を区長が執行するにあたって、区の皆様方の意見を聞きながらという場は必要だろうと思っておりました。

それが、区民会議が政令指定都市スタート当初から始動できない状態ですので、このまちづくり予算についてのスタートは少し先送りせざるを得ないと思い、今回計上はしていません。

【記者】1年後ろ倒しという修正ですけれども、再来年度にはスタートさせたいとお考えですか。

【市長】はい。再来年度にはスタートできるように、いろんな体制、環境づくりに努めてまいりたいと考えております。